

熱中症治療における冷却方法の検討：単施設後ろ向き研究

2014年1月から2023年9月末までに当院救命救急センターで治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「熱中症治療における冷却方法の検討：単施設後ろ向き研究」という研究を行います。この研究は、2014年1月1日から2023年9月30日までに日本医科大学武蔵小杉病院の救命救急センターに、熱中症にて入室した症例を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただく前に、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の間い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：熱中症治療における冷却方法の検討：単施設後ろ向き研究

対象期間：2014年1月1日～2023年9月30日

研究責任者：日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 田上 隆

(2) 研究の意義、目的について

この研究の目的は、日本で深刻な問題となっている熱中症に対する治療法の効果をもっと理解することです。どの治療法が一番効果的で、コストパフォーマンスが良いのかを明らかにすることで、これからの温暖化の影響にどう対応するかが分かり、それは非常に重要なこととなります。この研究の結果を基に、私たちの病院では治療方法を見直すとともに、研究の内容を論文として公開し、多くの人々に知ってもらうことも目指しています。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

この研究では、過去の熱中症の患者さんの治療情報を分析して、熱中症の治療法についての新しい知見を得ることを目指しています。当病院で過去10年間に熱中症で治療された方々の情報を振り返る形で行います。2014年1月から2023年9月までに、当院の救命救急センターに入院された方々の中から、熱中症と診断された方々が研究の対象となります。

この研究で収集する情報は、既存の医療記録や、診療時に取得したDPCデータから得られるものです。血液検査の結果も含まれますが、通常の診療で得られた情報以外のものは収集しません。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学武蔵小杉病院 救命救急科 准教授 田上 隆

〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-383

電話番号：044-733-5181（代表） 内線：3341